

第1回下野市総合計画審議会 会議録

日 時 平成28年8月22日(月) 午前10時～11時55分
場 所 下野市役所庁舎 301会議室(災害対策本部設置のため庁議室より変更)
出席委員 中村祐司会長、塚原良子委員、磯辺香代委員、高田憲一委員、江田俊夫委員、高山和典委員、川俣一由委員、鱒淵泰子委員、錦野幸子委員、稲田智秀委員、佐間田香委員、山口貴明委員、鈴木祐孝委員、前原保彦委員、小島恒夫委員、島田実委員
欠席委員 大島昌弘委員、三橋明美委員、山口富男委員、永山茂夫委員、小幡洋子委員、赤穂敏広委員
出席者 板橋副市長、長総合政策部長、山中総務部長、布袋田市民生活部長、小口健康福祉部長、高德産業振興部長、石島建設水道部長、野澤教育次長
事務局 星野総合政策課長、浅香主幹、相馬主事
傍聴者 無

○次第

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 あいさつ
- 4 議事
 - (1) 総合戦略の進行管理に係る体制及びスケジュールについて
 - (2) 総合戦略の進捗状況の報告について
 - (3) その他
- 5 閉 会

○開会

(事務局) 平成28年度第1回下野市総合計画審議会を開会する。

○委嘱状交付

(事務局) 今回、委員の方の変更があるため、新しく委員となられる方に委嘱状の交付を行う。本日は、広瀬市長が公務につき不在のため、板橋副市長より交付を行う。

○板橋副市長より錦野幸子委員、稲田智秀委員へ委嘱状の交付を行う。

○あいさつ

(事務局) 開会にあたり中村会長よりごあいさつをお願いしたい。

(中村会長) 皆様こんにちは。第1回の総合計画審議会ということで、委員の皆様

様とお会いするのは総合計画策定以来であり、お久しぶりです。また、新たに委員になられた方は今後よろしくお願いいたします。新庁舎の外観は庁舎の前を通る度に拝見していたが、本日初めて内部に入り、木目調の内装、広々したフロアなどとても感激をしました。また、休日には市民ロビーを貸し出し、市民の方へ開放していることも聞き、今までの庁舎に増して良いものが完成したのではないかと思います。名は体を表すと言うが、「下野市」という名と下野市の魅力を表した庁舎ではないかと思う。本日は台風が近づいており、対策本部設置の関係で会場が変更となったが、嬉しいことに国分寺出身である柔道の高藤直寿選手のメダル獲得のパネルを先ほど拝見した。そして先日、作新学院が甲子園で優勝した。一昨日の新聞において、作新学院は「守備」、「投手力」、「打線のつながり」という各ピースがうまくはまったという記事を拝見した。優れたピースがうまくかみ合った結果、優勝したということであった。この会議での中心の議題となるKPI（重要業績評価指標）が下野市は115項目ということは、県内においても一番多く、これだけ網羅的に、そして多くのことに踏み込む総合戦略を打ち出している市町は県内にはないと存じている。この各項目、つまりピースがうまく組み合わせられること、そしてこの新庁舎、下野市の持っている地域の力、市民の方の力などがうまくはまるということでは、この総合戦略はチャンスではないかと考えている。さて、「消滅可能性自治体」というものが出され大変衝撃的であった。その後、国から地域支援地域消費喚起・生活支援型交付金2,500億円、先行型交付金1,700億円、政策パッケージ1,575億円、2015年度に入ると総合戦略の個別施策に7,225億円が付き、地方財政においても一兆円、その後も加速化交付金、新型交付金など矢継ぎ早にこれだけの規模の財政出動をするなど、歴史的にもこれだけの国主導の地域振興策は類をみないのではないか。しかし、財源で国がこれだけ後押しをするということはチャンスであり、大枠ははめられているものの下野市の総合戦略の実行、更なる飛躍に向けてのチャンスではないかとも捉えている。素晴らしい庁舎のハード面に増して、人々のソフト面がさらに重要であると思う。この審議会は、素晴らしい委員の方が揃っているので、時間が限られてはいるが、皆様からのご意見をお聞きできればと思い、私も微力ながら尽力させていただくのでよろしくお願いいたします。

(事務局) ありがとうございます。本日は、庁内組織である地方創生推進本部を代表して板橋副市長が出席しているため、板橋副市長よりごあいさつ申し上げます。

(板橋副市長) おはようございます。本来であれば本部長である市長が挨拶を申し上げますところであるが、台風の警戒態勢による対策本部の対応につ

き、私が代わりに挨拶申し上げます。委員の皆様には、第二次下野市総合計画と合わせ、下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定にあたり様々なご意見をいただき感謝申し上げます。本年度から総合計画の実施がはじまり、地方創生に関しても総合戦略に従い、積極的に取り組んでいるところである。先ほど、中村会長からお話があったが、5月6日には新庁舎が開庁し、6か所に分散していた職員が1か所に集まり、職員の一体感、業務の効率性、職員間の連携がより図れているのではないかと実感している。本日をもってリオデジャネイロ五輪も終了し、日本勢の活躍に寝不足気味の毎日であるが、多くの感動をいただいた。8月6日には新庁舎ロビーにて、柔道男子60キロ級代表で本市出身である高藤選手のパブリックビューイングを行い、400名を超える市民の方が夜を徹して応援し、見事銅メダルを獲得した。また、高校野球では作新学院が54年ぶりに優勝した。本市においては、栃木下野リトルシニアが全国制覇をするなど、スポーツを通しての嬉しい話題が尽きません。この新庁舎は市民に開かれた庁舎がコンセプトであり、様々なイベントを開催していきたい。9月3日には山口（貴）委員が携わっている「しもつけフェスティバル」が開催される予定である。今後も、市民の皆様によりよい話題を提供していきたいと考えている。さて、本日の審議会では、総合戦略において掲げた4つの基本目標に係る数値目標および具体的な施策に係るKPIの平成27年度の達成度について報告させていただき、委員の皆様よりご意見をいただきたい。国においては、8月2日の臨時閣議において28兆1000億円規模の経済対策が決定された。下野市においても、国の動向に注視し、遅れを取らぬよう地方創生の取組に努めていきたいと考えているので、委員の皆様におかれては貴重なご意見を頂戴できればと思う。

(事務局)

ありがとうございます。本日も、昨年に引き続き、総合戦略の施策を担当する各部長が出席しております。それでは、この後の議事進行に関しては、中村会長にお願いいたしますので、よろしく申し上げます。

(中村会長)

それでは始めに、会議成立、会議署名人の確認をする。本日は欠席6名であり、過半数を超えているため下野市総合計画審議会条例第6条第2項により会議は成立する。本日の会議署名人は、慣例に従い名簿順により塚原委員と磯辺委員にお願いする。

(中村会長)

次に、事務局から資料の確認を行う。

(事務局)

配布資料の確認をさせていただく。資料は事前に配付させていただいた「会議次第」、「地方創生に係る推進体制とスケジュール」、「下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価分析シート」である。また、本日追加で配付させていただいた「地方創生加速化交付金関連事業の進捗状況」と市の各PR資料に関しては、後ほど説明させて

いただく。

○議事

(1) 総合戦略の進行管理に係る体制及びスケジュールについて

(中村会長) 昨年度に策定した「下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」であるが、策定後はじめて進行管理を行うための審議会である。したがって、進行管理における審議会の位置付け、全体の体制やスケジュールについて委員の皆様と共通の認識を持ちたい。それでは、事務局から説明をお願いしたい。

(事務局) 資料については、「地方創生に係る推進体制とスケジュール」についてご覧いただきたい。各自治体における地方創生の指針となる地方版総合戦略の策定が国から求められ、非常にタイトなスケジュールの中、委員の皆様のご尽力のおかげで、「下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定させていただいた。この総合戦略において設定をした4つの基本目標における数値目標及び具体的施策のKPIの達成度について客観的に検証し、意見・提言を受ける役割として総合計画審議会が位置付けられ、総合戦略の中においてもその旨、記載させていただいている。下野市では外部組織である総合計画審議会を筆頭に、その下部に内部組織としての地方創生推進本部を置き、ここで総合戦略の進行管理や審議会からの提言等への対応を協議するとともに、担当職員からなる専門部会でたたき上げた地方創生施策の連携調整や実施に向けた検討を行う場とする。本日の第1回目となる審議会においては、8月5日の推進本部で取りまとめたKPI等の進捗状況について検証いただく。審議会の役割としては、PDCAサイクルのチェック（検証）と、アクション（施策の見直しや戦略の改訂）に向けた提言となる。総合戦略の検証を進める中で、目標値の修正があれば、審議会の中で必要に応じて見直しを図ることとされており、この後ご説明する評価分析シートをご確認いただき、審議会で見意見・提言があれば推進本部へフィードバックし協議していく。そして、その協議内容や対応状況について、2回目の審議会にご報告させていただく。その対応状況について審議会で見意見があれば提言していき、審議会と推進本部の間でのキャッチボールを行っていきたいと考えている。具体的には本日の会議で検証いただき、意見・提言あるいは修正の求めがあった場合には、11月の推進本部で対応を協議し、予算化が必要なものは予算化するなどの措置を取る。その内容を取りまとめた上で、1月に予定する2回目の審議会でご報告させていただく。その対応や新年度へ向けた取組などに対する意見・提言があれば、必要に応じて推進本部を通じ関係各課へフィードバックしていきたいと考

えている。最終的には、進捗状況等を議会にも報告し、1年間のスケジュールとしたい。

(中村会長) 昨年度策定した総合戦略の進行のチェックと後押しをするという意味合いでの見直しを行うのがこの審議会である。委員の皆様からは建設的なご意見を頂戴したい。全体の体制やスケジュールについてご意見はあるか。

(委員) <意見なし>

(中村会長) 無いようであるので、本日のメインである次の議題に移る。

(2) 総合戦略の進捗状況の報告について

(中村会長) それでは、次の議事に入る。総合戦略の進捗管理について事務局から簡潔かつ丁寧に説明をしていただき、委員の皆様からご指摘やご意見を頂戴していく。それでは、事務局より総合戦略の実績の報告をお願いします。

(事務局) 資料「下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価分析シート」に基づき説明。

○評価分析シートの記載内容についての説明。総合戦略で定めた基準値、5年後の目標値を定めたが、それに加え、数値化できるKPIについては、平成27年から平成31年までの5か年について各担当課にて「年度目標値」を新たに設定。「達成度」は、年度目標値と実績値を比較したものである。

○達成度のやや低い項目、地方創生加速化交付金に関連する事業の項目を中心に説明。

○8ページ「32 上水道普及率」について、平成29年の年度目標値を「97.16%」、平成30年の年度目標値を「97.18%」に訂正。当初の最終目標値を達成したため、「97.20%」に上方修正。

○11ページ「45 両親学級参加数」を「両親学級参加率」へ変更。合わせて基準値と目標値を率にて改めて設定。これは、参加数よりも親子全体での参加率を基準とすることが、指標としてより適切であるとの判断のため(12ページ「53 両親学級参加数」について同様に訂正)。

○17ページ「72 認知症サポーター数」について、すでに4,000人の目標値を達成予定につき、「5,455人」に変更。

○21ページ「86 講座・講演会の年間受講者数」、「87 図書館の市民1人あたりの年間貸出冊数」、「88 公民館の利用者数」、23ページ「93 グリムの森・グリムの館の来園者数」、25ページ「104 市民1人1日あたりの資源物以外のごみ排出量」、27ページ「110 人権教育講演会の受講者数」の平成31年の各目標値について、「第二次下野市総合計画」(平成28年3月策定)の平成32年の目標値との整合性を図るため変更。

○23ページ「94 下野薬師寺ボランティア会員数」を「94 下野薬師寺跡・しもつけ風土記の丘資料館ボランティア会員数」に指標名称を変更。

(中村会長) 委員の皆様からのご意見やご指摘をいただきたい。

- (島田委員) 「39 下野ブランド認定件数」で新規4件を認定したとのことだが、「12 新メニューの提供数」における新メニューの2件は下野ブランドに入っているのか。また、新メニューの商品展開などはどうなっているのか。
- (高德産業振興部長) 新メニュー2件は、昨年度地元農産物普及事業として始まった料理人を招いてのセミナーにおいて、開発、紹介いただいたものである。この新メニューは、現在、特定の店舗にて販売等を行ってはおらず、ブランドとしても認定はしていない。
- (島田委員) わかりました。次に「14 下野市地産地消応援団認定数」について、60事業所を5年後の目標としているが、そもそも対象となる直売所や飲食店は全体でどの程度あるのか。
- (高德産業振興部長) 現在は直売所、加工所、かんばん問屋、小中学校が主となっており、飲食店での認定が少ないため今後は飲食店に広めていきたいと考えている。しかし、全体の総数は把握をしていない。
- (島田委員) 全体の総数が分からないと、目標値の60事業所が多いのか、少ないのか判断が難しいのではないかと。是非、全体の総数を把握した上で取り組んでいただきたい。
- (高德産業振興部長) 承知した。
- (高田委員) 先ほどの「12 新メニューの提供数」について、商品開発研究会のようなものがあると記憶しているが、毎年発表会などを行っており、そちらで開発したのも新メニューとカウントできるのではないかと。
- (高德産業振興部長) 農業公社で行っている地域特産物商品化開発研究会においても、開発を行っているが、この指標における新メニューは、農畜産物普及事業の中で行っている新メニューの開発件数を実績として報告している。
- (高田委員) 事業が異なるため、この指標には件数としてカウントされないということか。
- (中村会長) 高田委員としては、農業公社で行っている開発メニューも実績として入れてもよいのではないかとという前向きなご意見でよろしいか。
- (高田委員) おっしゃる通りである。その方がよいのではないかと。
- (高德産業振興部長) 道の駅において開催している「食のオープンスクール」などもあるため、そのような中で新メニューも加えると数は相当増えてくる。ご指摘いただいた点については、今後、指標の実績として加えるかどうかも含めて事務局とも相談の上、検討していきたい。
- (中村会長) 貴重なご意見ありがたい。この点については次回の審議会において報告いただくことになるかと思うので、一度事務局にお預けする。ただいまのような建設的なご意見を委員の皆様、次々出していきたい。
- (小島委員) 「72 認知症サポーター数」について、実績値の1,513人は、

年度目標値660人の2.29倍の実績であった。達成度はA判定となっているが、これだけ実績が出たことには基準にはないが「S判定」をつけてもよい頑張りであった。平成28年度において4,000人を上回ることが確実となり、また、地域包括ケアシステムの構築を目指す市の全体の方向性の中で、認知症サポーター数の目標値をさらに上げてもいいのではないかと考えるがいかがか。

(中村会長) 小島委員は、具体的には平成31年の目標値をどの程度に設定するのがよいと考えるか。

(小島委員) 私の理想は、7,000人である。どうせ目指すのならば、より上を目指して取り組んでいただきたい。

(中村会長) ありがとうございます。これだけ項目が多く、多岐にわたっている総合戦略なので、こういう点に着目して重点的に取り組むというご意見もあるかと思われる。他の方はいかがか。

(鈴木委員) 初めてこのような進捗管理を行う会議に出席をするが、評価分析シートを拝見し、地方創生は大変な仕事だなと感じているところである。私からは5つの点について意見を述べたい。一つ目は「10 近隣市町等との共催による合同説明会の開催」について。現在小山地区定住自立圏の共生ビジョンを策定中だが、定住自立圏を今後活用していくことを考えてはどうか。二つ目は「20 農業水利施設の機能診断・保全計画策定数」で堰が9か所とのことだが、環境保全会だけでも24もあるが、堰はもっとあるのではないか。公共施設の管理計画に入っていたのかも含めて気になるところである。三つ目は「43 農産物加工体験施設の設置数」にある既存の下野市農村環境改善センターについてであるが、体験施設の使用がなされているのか気になるところである。4つ目は「64 婚活に関するスキルアップ事業数」および「65 婚活支援事業数」について、所管課がそれぞれ異なっているが、婚活に関する事業における役割分担がどのようになっているのか。最後に、「70 出会いふれあいサービス事業利用者数」について基準値が990人となっているが、石橋地区のひとり暮らしの高齢者は直近の数値で1,349人いるが、この基準値はどこから引用した数値なのか。

(中村会長) 三つ目の「43 農産物加工体験施設の設置数」についてのご意見は、体験施設として下野市農村環境改善センターをカウントしてよいのか、もしくはKPIとして不適切なのではないかというご意見か。

(鈴木委員) KPIとして不適切ということではなく、そもそもこの施設が体験施設として実際使用されているのかということが気になっている。

(中村会長) 承知した。本日は、多くの委員の方のご意見を頂戴したいと考えているので、その他の方ご意見はあるか。

(島田委員) 「57 休日保育事業実施園数」が2か所となっているが、市のホ

ホームページを見ると、むつみ保育園のみ「要相談」ということで受け入れているが、もう1か所はどここの園を指しているのか確認をお願いしたい。ホームページの内容に記載漏れがあるのであれば、合わせて訂正もお願いしたい。次に「100 消費生活に伴う相談及び問い合わせ件数」について達成度がBとなっているが、この指標は相談件数を下げることが評価するのか、それとも市役所に相談窓口があることを周知することで相談件数が増えたことを評価するのか曖昧であると思われる。

(中村会長) 前者の保育園については確認をお願いする。後者については、説明の中で書いていくことが望ましいと思われる。また、他の指標でも同じことが言えるのではないかと思う。

(佐間田委員) 先ほど話題に出た「12 新メニューの提供数」における新メニューであるが、せっかく開発したメニューはもっと活用すべきである。例えば、全体で何キロカロリー以下の野菜フルコースなどは、私たちの世代に対してはとても魅力的であるし、自治医科大学附属病院があるので、ヘルシーなメニューは喜ばれるのではないか。店舗で提供するのが難しいのであれば、花まつりなどのイベント時に出すだけでも人が集まるのではないかと思う。

(中村会長) ありがとうございます。一つのアイデアとして、そのような取組も検討いただきたいと思う。その他、ご意見いかがか。

(鱒淵委員) 「75 就労系サービス利用者数」について、平成28年から平成30年にかけて年度目標値が140名と横ばいで推移しているが、特別支援学校から毎年数名の卒業生がいることを考えると、増加することが見込まれる。それらを見込んで目標値を増やすべきだと考える。

(中村会長) 現場の方からの貴重なご意見である。一律にするのではなく、そのような状況を踏まえて設定した方が良いというご意見ですね。ありがとうございます。KPIの指標そのものは、総合計画審議会の中でも皆様に議論をしたものなので、基本的にはこれらの指標でやっていくとしても、数値的なものについて今まで出していたいただいたようなご意見があるかと思う。是非、皆様のご意見を参考に改善し、進めていきたい。それでは次の方、お願いする。

(前原委員) 「49 保育園・幼稚園等での食育教室実施回数」について、年度目標値9か所に対し実績値16か所とのことだが、回数だけではなく食育教室を行った効果を分析の中で書いていただくともっと良いのではないか。以前、長野県上田市の食育の取組において、給食に小魚などを多く取り入れたことで、「貧血で倒れる子どもが減った」、また「子どもの態度が落ち着いた」という報告があった。食育はとても重要で大変な取組ではあるが、そのような効果を分析していくと、評価もまた違った見方ができ、多くの方に理解を得られる

と思われる。

(中村会長) なかなか数値と結びつけることは難しいものと思われるが、おっしゃる通り、回数だけでなく効果を記載いただくとよろしいかと思う。時間が迫っているが、その他ご意見はあるか。

(塚原委員) 「26 木造住宅耐震診断・改修補助件数」について。4、5年前より大規模な震災が増えている。また、高齢者のひとり暮らしが増えていることや空き家が増えている状況の中で、記載の目標値の件数が増えていくことは考えにくい。この指標は現状を捉えていないように感じる。

(中村会長) ありがとうございます。その点も今後、事務局にお預けする。もっと多くのご意見を頂戴したいところであるが、時間の関係もあるため次に進めさせていただく。

(3) その他

(中村会長) 事務局から説明をお願いしたい。

(事務局) 当日配布の資料について説明。

○しもつけディグリングマップ、しもつけフェスティバルフライヤーについて説明。

関係者である山口(貴)委員から合わせてご説明いただく。

○夕顔のしずく、るるぶ下野市、こんなにすごいぞ下野市、お散歩マップ、しもつけGOについて説明。

○本日の審議会の会議録は、完成次第ご高覧いただくとともに、署名委員の方々から署名をいただき、その後中村会長の署名をいただき確定としたい。

○本日の会議録および資料は市のホームページにて公開する。

○頂戴したご意見は、地方創生推進本部にて検討し、次回の総合計画審議会に報告をさせていただく予定となっている。

(中村会長) ありがとうございます。議事は以上となります。それでは進行を事務局へお返しいたします。

○閉会

(事務局) 中村会長ありがとうございました。以上をもちまして平成28年度第1回下野市総合計画審議会を閉会する。

以上

会議の経過を記載し、その相違がないことを証するためにここに署名する。

会 長.....

署名委員.....

署名委員.....